

平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東  
 コード番号 7148 URL http://www.fpg.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷村 尚永  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 久保出 健二 TEL 03-5288-5691  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	4,743	△18.2	3,020	△26.2	3,240	△22.7	2,227	△19.1
28年9月期第1四半期	5,798	35.2	4,091	27.8	4,191	34.4	2,753	38.0

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 2,367百万円 (△14.1%) 28年9月期第1四半期 2,755百万円 (36.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	24.76	24.66
28年9月期第1四半期	29.26	29.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	70,915	17,080	23.9
28年9月期	81,222	17,809	21.8

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 16,915百万円 28年9月期 17,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	35.50	35.50
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	0.00	—	37.15	37.15

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,459	△1.3	6,330	△10.9	6,378	△10.5	4,145	△8.8	46.08
通期	21,234	12.4	12,944	9.2	12,936	8.7	8,353	9.3	92.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期1Q	94,461,600株	28年9月期	94,461,600株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	4,506,692株	28年9月期	4,506,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期1Q	89,954,908株	28年9月期1Q	94,097,275株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

平成29年 9 月期 第 1 四半期 決算概要	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	10
3. 四半期連結財務諸表	11
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	13
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	14
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報)	15

平成29年9月期 第1四半期 決算概要

損益の状況

- タックス・リース・アレンジメント事業について、投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金販売額が四半期（3か月）単位で過去最高となる293億円となる等、売上高は42億円となりました。なお前第1四半期に利益率の高い案件の販売が集中したこともあり、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。またリース事業組成金額は467億円となりました。リース事業組成金額は、賃借人の設備投資のタイミングにより、四半期単位で大きく変動いたします。当連結会計年度は、第2四半期以降に組成を見込むこともあり、当連結会計年度の予想金額に対する進捗率は11.7%となりました。
- 連結売上高は47億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益金額が当連結会計年度の予想金額に対して26.7%となる等、概ね計画に沿った進捗となりました。

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減額	(予想) 平成29年9月期 第2四半期	(予想) 平成29年9月期 連結会計年度
売上高	5,798	4,743	△1,055	10,459	21,234
タックス・リース・ アレンジメント事業	5,400	4,271	△1,129	9,338	19,011
その他	398	472	73	1,120	2,223
営業利益	4,091	3,020	△1,070	6,330	12,944
経常利益	4,191	3,240	△951	6,378	12,936
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,753	2,227	△526	4,145	8,353
一株当たり 四半期(当期)純利益	29円26銭	24円76銭	—	46円08銭	92円87銭
リース事業組成金額	130,862	46,759	△84,102		400,000
出資金販売額	27,683	29,358	1,674		124,000

財政状態の状況

(単位：百万円)

	平成28年 9月末	平成28年 12月末	増減額
資産合計	81,222	70,915	△10,306
流動資産	78,338	68,029	△10,308
(現金及び預金)	8,671	16,198	7,526
(商品出資金)	57,121	43,819	△13,302
(組成用不動産)	2,461	1,323	△1,138
(その他)	10,082	6,688	△3,394
固定資産	2,863	2,875	12
繰延資産	20	10	△10
負債合計	63,412	53,835	△9,577
流動負債	59,242	46,459	△12,783
(借入金・社債)	38,091	30,908	△7,183
(前受金)	10,575	8,957	△1,618
(その他)	10,575	6,593	△3,981
固定負債	4,170	7,376	3,206
純資産合計	17,809	17,080	△729

資産合計

出資金の販売を進めたことから、商品出資金が438億円となりました。

不動産小口運用商品の販売を進めたことから、組成用不動産の残高が13億円となりました。

証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に係る差入保証金及びデリバティブ債権が減少したこと等から、流動資産に含まれるその他の資産の合計が66億円となりました。

負債合計

返済を進めたことから、流動負債の借入金・社債が、309億円となりました。

未払法人税等並びに、証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に係る受入保証金及びデリバティブ債務が減少したこと等から、流動負債に含まれるその他の負債の合計が65億円となりました。

純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、前期末配当を実施したこと等により、純資産が170億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成27年9月期 第1四半期	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	4,288	5,798	4,743	△1,055	△18.2%
売上原価	490	632	550	△81	△12.9%
販売費及び一般管理費	596	1,074	1,171	97	9.0%
営業利益	3,200	4,091	3,020	△1,070	△26.2%
営業外収益	201	235	309	74	31.8%
営業外費用	283	134	89	△44	△33.4%
経常利益	3,119	4,191	3,240	△951	△22.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,994	2,753	2,227	△526	△19.1%
リース事業組成金額	62,172	130,862	46,759	△84,102	△64.3%
出資金販売額	22,743	27,683	29,358	1,674	6.0%

(注) 本書における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募により販売した額及びリース開始日時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したものについて、投資家へ譲渡により販売した額の合計額であります。なお航空機リース事業に係る信託受益権譲渡価額を含めております。

当第1四半期連結累計（会計）期間における世界経済は、中国その他新興国経済の減速懸念等もあり、先行きに不透明さがあるものの、総じて、緩やかな回復基調が続きました。日本経済についても、海外経済の減速等の懸念もありますが、緩やかな回復基調が続きました。このような状況のもと、当社グループは、信託機能を活用した航空機リース事業案件の提供を開始するなど、中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めました。

売上高

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減額
売上高	5,798	4,743	△1,055
タックス・リース・ アレンジメント事業	5,400	4,271	△1,129
その他	398	472	73

売上高は4,743百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

(タックス・リース・アレンジメント事業)

投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、販売ネットワークの拡大を含む販売力の向上により、出資金販売額が四半期連結会計期間（3か月）単位で過去最高となる29,358百万円（前年同期比6.0%増）となる等、売上高は4,271百万円（前年同期比20.9%減）となりました。なお前第1四半期連結累計期間に利益率の高い案件の販売が集中したこともあり、売上

高は前年同期に比べ減少いたしました。なお組成済みで第2四半期連結会計期間以降に投資家に販売する予定の出資金である商品出資金は第1四半期連結会計期間末で43,819百万円となりました。

リース事業組成金額は46,759百万円（前年同期比64.3%減）となりました。リース事業組成金額は、賃借人の設備投資のタイミングにより、四半期連結会計期間単位で大きく変動いたします。前連結会計年度は、第1四半期連結会計期間に案件組成が集中した一方で、当連結会計年度は、第2四半期連結会計期間以降に案件組成を見込むことから、当第1四半期連結会計期間の組成金額は、当連結会計年度の組成金額の予想額400,000百万円（前年度実績比5.6%増）に対して、その進捗率が11.7%となりました。

各連結会計年度の組成金額に対する各四半期連結累計期間の進捗率及び組成金額の推移は以下のとおりであります。

	連結会計年度の組成金額に対する進捗率				組成金額	
	第1四半期 連結累計期間 (10月から12月)	第2四半期 連結累計期間 (10月から3月)	第3四半期 連結累計期間 (10月から6月)	連結会計年度 (10月から9月)	連結会計年度 (10月から9月)	対前年度 増加率
平成26年9月期	25.7%	31.3%	52.2%	100.0%	168,613百万円	71.4%
平成27年9月期	20.9%	44.8%	69.0%	100.0%	297,349百万円	76.3%
平成28年9月期	34.5%	48.0%	84.3%	100.0%	378,808百万円	27.4%
平成29年9月期	11.7%				400,000百万円	5.6%

(その他)

タックス・リース・アレンジメント事業以外のその他の事業の売上高は472百万円（前年同期比18.6%増）となりました。このうち、FPG AMENTUM LIMITEDが行う航空機投資管理サービス事業の売上高は169百万円（前年同期比9.1%増）、不動産関連事業の売上高は140百万円（前年同期比5.9%増）、証券事業の売上高は75百万円（前年同期比28.1%増）、保険仲立人事業の売上高は80百万円（前年同期比150.3%増）となりました。

#### 売上原価

売上原価は550百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

これは主に顧客紹介に係る手数料が減少したことによるものであります。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減額
販売費及び一般管理費	1,074	1,171	97
人件費	524	561	36
その他	550	610	60

販売費及び一般管理費は1,171百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

これは、主に業容拡大等により、人件費が561百万円（前年同期比7.1%増）、その他の費用が610百万円（前年同期比11.0%増）となったことによるものであります。

(注)人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は3,020百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第1四半期	平成29年9月期 第1四半期	増減額
営業外収益	235	309	74
受取利息	134	169	34
持分法投資利益	77	71	△5
その他	22	68	45
営業外費用	134	89	△44
支払利息	80	61	△18
支払手数料	15	26	11
その他	39	1	△37

営業外収益は309百万円（前年同期比31.8%増）となりました。これは主に、投資家から收受している商品出資金の立替利息が増加した結果、受取利息が169百万円（前年同期比25.8%増）となったこと、関連会社の持分法による投資利益が71百万円（前年同期比7.7%減）、為替差益が47百万円（前年同期は5百万円の為替差損）となったことによるものであります。

営業外費用は89百万円（前年同期比33.4%減）となりました。これは主に、支払利息が61百万円（前年同期比23.1%減）、支払手数料が26百万円（前年同期比74.9%増）となったことによるものであります。

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

上記の結果、経常利益は3,240百万円（前年同期比22.7%減）、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は2,227百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	平成28年9月期 第1四半期		平成29年9月期 第1四半期	
	売上高	セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)	売上高	セグメント利益 またはセグメン ト損失 (△)
F P G	5,477	4,237	4,412	3,219
F P G証券	61	△14	75	11
その他	264	△31	260	△15
調整額	△4	—	△4	24
合計	5,798	4,191	4,743	3,240

- (注) 1. 各セグメントの売上高及びセグメント利益またはセグメント損失は、セグメント間取引の消去前の金額を記載しております。  
 2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。  
 3. 調整額はセグメント間取引消去額であります。

(F P Gセグメント)

売上高は4,412百万円（前年同期比19.4%減）、セグメント利益は3,219百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

(F P G証券セグメント)

売上高は75百万円（前年同期比22.7%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期は14百万円のセグメント損失）となりました。

(その他)

売上高は260百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期比50.5%減）となりました。



( 2 ) 財政状態に関する説明

( 単位 : 百万円 )

	平成28年 9 月末	平成28年 12 月末	増減額
資産合計	81, 222	70, 915	△10, 306
流動資産	78, 338	68, 029	△10, 308
（現金及び預金）	8, 671	16, 198	7, 526
（商品出資金）	57, 121	43, 819	△13, 302
（組成用不動産）	2, 461	1, 323	△1, 138
（その他）	10, 082	6, 688	△3, 394
固定資産	2, 863	2, 875	12
繰延資産	20	10	△10
負債合計	63, 412	53, 835	△9, 577
流動負債	59, 242	46, 459	△12, 783
（借入金・社債）	38, 091	30, 908	△7, 183
（前受金）	10, 575	8, 957	△1, 618
（その他）	10, 575	6, 593	△3, 981
固定負債	4, 170	7, 376	3, 206
純資産合計	17, 809	17, 080	△729

( 注 ) 流動負債の（借入金・社債）には、コマーシャル・ペーパーを含めております。

資産の状況

資産合計は70, 915百万円（前年度末比10, 306百万円の減少）となりました。その概要は以下のとおりであります。

( 流動資産 )

流動資産は68, 029百万円（前年度末比10, 308百万円の減少）となりました。

- ・現金及び預金は16, 198百万円（前年度末比7, 526百万円の増加）となりました。
- ・商品出資金は43, 819百万円（前年度末比13, 302百万円の減少）となりました。これは主に  
出資金の販売を進めたことによるものであります。
- ・組成用不動産は1, 323百万円（前年度末比1, 138百万円の減少）となりました。これは不動  
産小口運用商品の販売を進めたことによるものであります。
- ・上記以外の流動資産は6, 688百万円（前年度末比3, 394百万円の減少）となりました。これ  
は主に、証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に関連して、カバー取  
引先である金融機関に対する差入保証金が1, 918百万円（前年度末比1, 405百万円の減  
少）、デリバティブ債権が1, 242百万円（前年度末比1, 570百万円の減少）となったこと  
によるものであります。

( 注 ) 通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際しては、当社グループが、デリバティブ取引の市場リスクを負担することを回避  
するために、顧客とのデリバティブ取引契約を締結する際に、カバー取引として、金融機関とデリバティブ取引契約を締結  
しております。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金を計上するとともに、負債側に、デリ  
バティブ債務と顧客からの受入保証金を計上しております。

(固定資産)

固定資産は2,875百万円(前年度末比12百万円の増加)となりました。

- ・有形固定資産は437百万円(前年度末比5百万円の減少)となりました。
- ・無形固定資産は1,274百万円(前年度末比14百万円の増加)となりました。
- ・投資その他の資産は1,164百万円(前年度末比3百万円の増加)となりました。

負債の状況

負債合計は53,835百万円(前年度末比9,577百万円の減少)となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動負債)

流動負債は46,459百万円(前年度末比12,783百万円の減少)となりました。

- ・借入金・社債は30,908百万円(前年度末比7,183百万円の減少)となりました。これは主に商品出資金の取得のための借入金の返済を進めたためであります。
- ・第2四半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料を含む前受金は8,957百万円(前年度末比1,618百万円の減少)となりました。
- ・上記以外の流動負債につきまして6,593百万円(前年度末比3,981百万円の減少)となりました。これは主に、未払法人税等が483百万円(前年度末比1,871百万円の減少)となったこと、また、証券事業において提供する通貨関連店頭デリバティブ商品に関連して、顧客から收受する受入保証金が2,765百万円(前年度末比900百万円の減少)、その他の流動負債に含まれるデリバティブ債務が1,252百万円(前年度末比1,562百万円の減少)となったことによるものであります。
- ・機動的な資金調達が可能となる、コミットメントライン契約及び当座貸越契約等の総額は、当第1四半期連結会計期間末で90,500百万円(前年度末比1,100百万円の増加)となりました。

(固定負債)

固定負債は7,376百万円(前年度末比3,206百万円の増加)となりました。これは主に、借入金・社債が7,144百万円(前年度末比3,207百万円の増加)となったことによるものであります。

純資産の状況

純資産合計は17,080百万円(前年度末比729百万円の減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,227百万円を計上した一方で、前年度の期末配当3,193百万円を実施したことによるものであります。

自己資本比率は、当第1四半期連結会計期間末時点で23.9%(前連結会計年度末は21.8%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の売上高は4,743百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,227百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益金額が当連結会計年度の予想金額に対して26.7%となる等、概ね計画に沿った進捗となりました。

(単位：百万円)

	平成29年9月期 (実績)	平成29年9月期 (予想)			
	第1四半期 連結累計期間	第2四半期 連結累計期間		連結会計年度	
		平成28年10月1日～ 平成28年12月31日	平成28年10月1日～ 平成29年3月31日	前年同期比	平成28年10月1日～ 平成29年9月30日
売上高	4,743	10,459	△1.3%	21,234	12.4%
タックス・リース・ アレンジメント事業	4,271	9,338	△4.2%	19,011	11.5%
その他	472	1,120	32.4%	2,223	20.9%
営業利益	3,020	6,330	△10.9%	12,944	9.2%
経常利益	3,240	6,378	△10.5%	12,936	8.7%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	2,227	4,145	△8.8%	8,353	9.3%
リース事業組成金額	46,759			400,000	5.6%
出資金販売額	29,358			124,000	13.3%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,671,729	16,198,165
売掛金	289,634	231,338
貯蔵品	8,705	9,402
商品出資金	57,121,772	43,819,703
組成用不動産	2,461,991	1,323,551
繰延税金資産	1,752,942	1,176,802
差入保証金	3,323,523	1,918,305
その他	4,707,837	3,352,385
流動資産合計	78,338,136	68,029,656
固定資産		
有形固定資産	443,317	437,361
無形固定資産		
のれん	1,192,526	1,212,299
その他	66,916	61,735
無形固定資産合計	1,259,442	1,274,034
投資その他の資産		
繰延税金資産	38,018	41,575
その他	1,122,770	1,122,747
投資その他の資産合計	1,160,788	1,164,323
固定資産合計	2,863,548	2,875,720
繰延資産		
開業費	20,797	10,565
繰延資産合計	20,797	10,565
資産合計	81,222,482	70,915,941
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	190,657	327,114
短期借入金	31,777,200	23,484,900
コマーシャル・ペーパー	4,000,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,014,792	2,623,392
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	2,354,563	483,295
前受金	10,575,516	8,957,413
賞与引当金	287,302	171,219
受入保証金	3,666,374	2,765,412
その他	4,076,129	2,846,457
流動負債合計	59,242,534	46,459,204
固定負債		
社債	850,000	800,000
長期借入金	3,087,516	6,344,518
資産除去債務	98,054	95,388
その他	134,807	136,509
固定負債合計	4,170,378	7,376,416
負債合計	63,412,913	53,835,620

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,091,176	3,091,176
資本剰余金	3,041,176	3,090,845
利益剰余金	15,289,763	14,323,548
自己株式	△3,524,170	△3,524,170
株主資本合計	17,897,945	16,981,399
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△189,127	△65,885
その他有価証券評価差額金	148	△40
その他の包括利益累計額合計	△188,978	△65,925
非支配株主持分	100,602	164,847
純資産合計	17,809,569	17,080,320
負債純資産合計	81,222,482	70,915,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,798,442	4,743,218
売上原価	632,551	550,745
売上総利益	5,165,891	4,192,472
販売費及び一般管理費	1,074,735	1,171,978
営業利益	4,091,156	3,020,494
営業外収益		
受取利息	134,929	169,762
為替差益	—	47,827
不動産賃貸料	19,641	12,074
持分法による投資利益	77,246	71,276
その他	3,315	8,909
営業外収益合計	235,133	309,850
営業外費用		
支払利息	80,078	61,615
自己株式取得費用	27,128	—
支払手数料	15,213	26,601
不動産賃貸費用	6,817	1,025
その他	5,172	314
営業外費用合計	134,409	89,556
経常利益	4,191,879	3,240,788
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産売却損	—	263
固定資産除却損	192	2,879
関係会社株式評価損	1,014	1,039
関係会社出資金評価損	295	204
会員権評価損	9,477	—
特別損失合計	10,978	4,386
税金等調整前四半期純利益	4,180,901	3,236,405
法人税、住民税及び事業税	1,326,624	426,534
法人税等調整額	79,542	572,871
法人税等合計	1,406,167	999,405
四半期純利益	2,774,733	2,237,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,011	9,816
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,753,722	2,227,183

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,774,733	2,237,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△188
為替換算調整勘定	△27,509	82,678
持分法適用会社に対する持分相当額	7,940	48,010
その他の包括利益合計	△19,568	130,500
四半期包括利益	2,755,164	2,367,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,736,420	2,350,236
非支配株主に係る四半期包括利益	18,744	17,264



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,474,826	58,771	5,533,598	264,844	5,798,442	—	5,798,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,290	2,608	4,898	—	4,898	△4,898	—
計	5,477,116	61,380	5,538,496	264,844	5,803,341	△4,898	5,798,442
セグメント利益又は損失(△)	4,237,823	△14,481	4,223,342	△31,462	4,191,879	—	4,191,879

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額に、調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G投資顧問」、「F P G信託」及び「F P G A MENTUM」セグメントであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額
	F P G	F P G証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,408,373	75,287	4,483,661	259,556	4,743,218	—	4,743,218
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,860	—	3,860	711	4,571	△4,571	—
計	4,412,233	75,287	4,487,521	260,267	4,747,789	△4,571	4,743,218
セグメント利益又は損失(△)	3,219,628	11,883	3,231,512	△15,589	3,215,922	24,865	3,240,788

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額に、調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「F P G信託」及び「F P G A MENTUM」セグメントであります。なお、「F P G投資顧問」につきましては、平成28年9月30日付で株式会社F P G投資顧問の全株式を譲渡し、同社を連結の範囲から除外しております。